

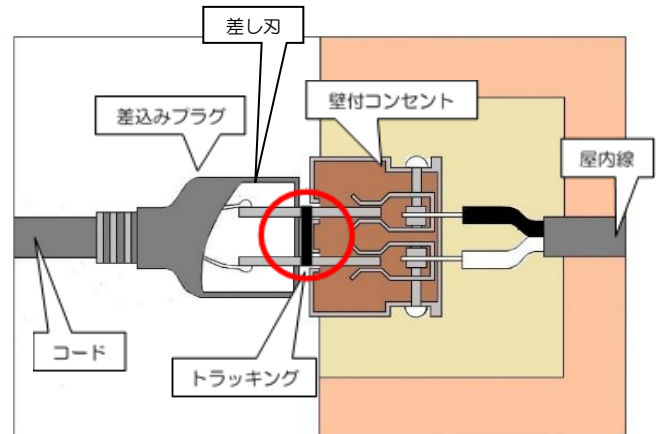
年末の大掃除の機会に室内の安全対策をしよう

<電源プラグの掃除をしよう>

1 身近なコンセントとプラグから火災が発生

- ① コンセントとプラグの差し刃間に埃が付着する。
- ② 埃が湿気を帯びる。
- ③ 微小なスパークが繰り返されプラグの絶縁が破壊される。
- ④ 電気回路が形成されて出火する。

(①～④により出火することをトラッキング現象といいます)

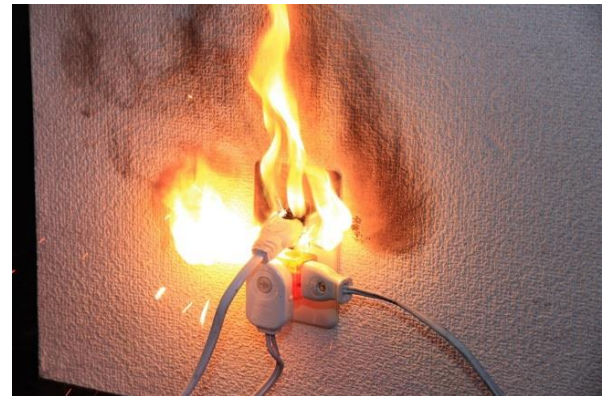


図解

昨年、東京消防庁管内では、トラッキング現象による火災が30件発生しています。

2 注意するポイント

- ① 使わない時はプラグをコンセントから抜きましょう。
- ② 長期間、差しっぱなしのプラグは、定期的に乾いた布できれいにしましょう。
- ③ 異常を感じたら、使用をやめましょう。
- ④ コードが家具などの下敷きや、押しつけなどで傷ついていないかを確認しましょう。
- ⑤ コードを束ねたり、ねじれたりしたまま使っていないか確認しましょう。



再現実験

3 火災事例

事例1 壁付コンセントに差込まれていた延長コードのプラグが、長期間差込まれていたため付着した埃などが湿気を帯び、トラッキング現象により出火した。

(全焼 けが人2名)

事例2 埃が溜まっていた床に置かれていた延長コードに差込まれていたテーブルタップの差込みプラグが、トラッキング現象により出火した。

(ぼや けが人なし)

事例3 スチールラックの背面(床)に長期間置かれていた延長コードに差込まれていたテーブルタップの差込みプラグが、トラッキング現象により出火した。

(部分焼 けが人なし)

<家具の転倒防止を確認しよう>

～転倒防止をしないと地震でこのような危険があります～



家具類が転倒・落下することでけがをする。



家具類がストーブなどに転倒・落下することで火災が発生する。

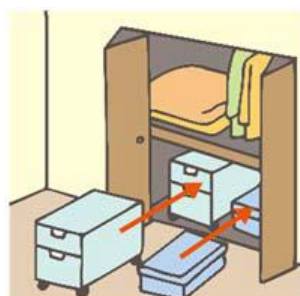


転倒・落下・移動した家具類により部屋の出入口を塞がれる。

～対策方法～

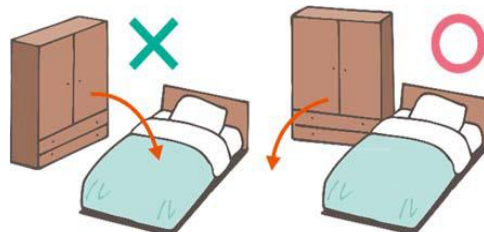
① 集中収納、収納方法の変更

- ・クローゼットや収納器具に荷物を集中収納し、努めて生活空間に家具を置かない。
- ・収納時には、重い物を下に置き、重心を低くして倒れにくいようにする。



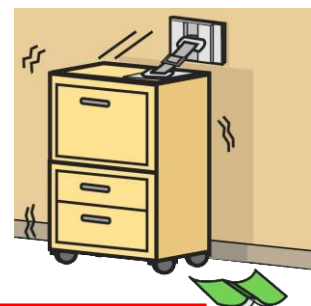
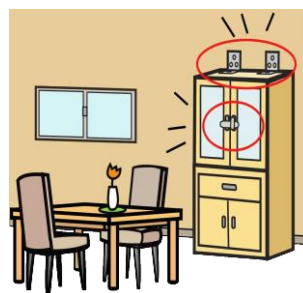
② レイアウトの工夫

- ・家の中で過ごす時間が長い場所（寝室のベッドやリビングのソファ）の近くにはなるべく家具は置かない。
- ・置く場合は、なるべく背の低い家具を使い、置き方を工夫したりする。
- ・出入口などの避難通路周辺に転倒・移動しやすい家具を置かない。



③ 器具を使用した対策

- ・L型金具などで、家具と壁を直接ネジで固定する方法は非常に効果的です。
- ・ポールとストッパーを組み合わせて設置することで、L型金具と同等の効果があります。



家具の形状や重さに合った転倒防止器具を選び正しく設置しよう！

本所消防署災害状況
(令和2年 11月 30日現在)
火災 45件 焼損床面積 151㎡
救助 274件 救急 8141件

お問合せは

(警防課防災安全係 地域防災担当
電話 3622-0119 (内線323))

詳しくはホームページへ

(東京消防庁 HP www.tfd.metro.tokyo.jp
署 HP www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-honjyo/index.html)